

入力No.	No.	年度	番号	目次	要望項目	要望解説	会議所担当部会	会議所担当課	会議所担当者	回答要否	回答/実現性	回答/速度	市回答	市担当部局
33	21014	21	014	3-(2)まちづくり 防災対策	市外企業の市内進出、移転及び支店設立等の検討に係る視察費用の負担制度創設	23)移転や支店等の新設を検討している企業に対し、まずは苫小牧に来てもらい、利便性や環境面に優れていることを実感してもらうべく、検討している企業に対し、視察に係る出張費の負担制度の創設を求める。	サービス業部会	事業推進課	三浦		C	C	市外企業の市内進出、移転及び支店設立等に向けては、引き続き、フェアや企業訪問等で苫小牧のアクセス性の良さ、豊かな自然、快適な生活環境等のPRを継続するとともに、事業者のニーズを見極めながら、取り組んで参りたいと考えております。	産業経済部港湾・企業振興課企業
33	20065	20	065	3-(3)インフラの整備	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	20)市営バスが民間に移譲されおりますが、利用者が減少して行く中、今後のバス路線の維持も困難になって来ることから、今後のまちづくりも考慮した利便性の確保を図りたい	サービス業部会	事業推進課	三浦		A	B	公共交通は、少子高齢化や新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、利用者減少や運転手不足など、大変厳しい状況が続いております。 市としましては、「地域公共交通計画」に基づき、令和6年度からの市内バス路線の再編や、JR・タクシーとの乗継利便の向上など、各施策に取り組むこととしており、将来に渡り持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けて、利用者の利便性向上のための取組を進めてまいります。	総合政策部まちづくり推進課
33	20026	20	026	3-(4)雇用・人材育成	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援	施設運営側の努力もむなしく、人材確保が大変厳しい。また、施設利用者の社会進出も依然厳しい状況であることから、それらを打開出来るような支援策の検討を求めます。	サービス業部会	事業推進課	三浦		B	B	本市では、介護人材確保支援事業及び介護職員育成支援事業の実施により、介護業界の人材不足に対する人材育成、確保等の雇用対策を推進しております。 介護人材確保支援事業につきましては、介護就業希望者と介護事業所とのマッチングにより、早期離職の防止に向けた取組を行っております。 また、長期間継続した就業を促進することを目的として、介護事業所に一定期間就労した者に対して、資格取得のための研修費用の一部を助成しております。 障がい者への就労支援として、厚生労働省の「特定求職者雇用開発助成金」の助成対象期間終了後も雇用を継続している事業者に奨励金を交付しており、引き続き障がい者の早期就職の実現や継続雇用を図ってまいります。 今後も多様な人材の活躍を促進するため、地域のニーズを把握してまいりたいと考えております。	福祉部介護福祉課
33	20099	20	099	3-(5)交流人口の増加と観光振興	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進及びイベント開催の促進		サービス業部会	事業推進課	三浦		C	C	苫小牧港は、物流や産業の拠点としてだけでなく、市民に潤いと憩いの場を提供する豊かなウォーターフロントの形成を目指し、親水空間の創造にも力を注いでおります。 令和3年度には、苫小牧都市再生プロジェクト委員会によるキッチンカーを集めたイベントが開催され、令和4年度についても継続開催されるなど、ウォーターフロントの日常的なにぎわいの創出に繋げる実証事業が展開されています。 今後も、クルーズ船の寄港時における官民一体となったイベントの創出や、港まつりに関連したイベント等を通じて市民のキラキラ公園の日常的なにぎわい創出に繋げてまいりたいと考えています。 また、令和5年度には開港60周年記念事業としてシンボリックモニュメントを設置いたします。苫小牧の新たな観光資源としてのシンボル効果創出を見込むとともに、情報発信の目玉として活用を図りたいと考えております。	産業経済部港湾・企業振興課
33	20103	20	103	3-(5)交流人口の増加と観光振興	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルデン)と民族共生象徴空間「ウボボイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	2020年オープン予定の民族共生象徴空間「ウボボイ」と連携した観光ルートの検討・提案とそれに伴う利便性の高い2次交通の整備を要望します。	サービス業部会	事業推進課	三浦		B	B	本市では2020年の白老町における民族共生象徴空間「ウボボイ」の開設され、北海道胆振総合振興局と連携した観光ルート創出事業に参画するなど、胆振地域での広域観光振興にも取り組んでいるところでございます。また、その中で、2次交通の活用についても合わせて協議してまいりたいと考えております。	産業経済部観光振興課